

登米市のできごと  
おしらせします!

## 米山で米山文化協会発表会 文化を伝え育む発表会

米山地域の文化を育み、守り継ぐことを目的に毎年開催され、今年で30回の節目を迎える「米山文化協会発表会」が7月5日、米山体育館で開催されました。発表会では、「地域の社会福祉に役立ててほしい」と、入場料の一部が社会福祉協議会へ贈呈されたほか、太鼓や舞踊、よさこい、弾き語りなど、41もの個人や団体が素晴らしい演技を披露しました。米山文化協会会長の鈴木敬一<sup>けいいち</sup>さんは、「今後も、地域に活力を与えることができるよう、会員一丸となつてがんばっていききたい」と話していました。



▲発表された多くの演目に訪れた人からは大きな拍手が送られました

## 永年納税貯蓄組合連合会 迫で市納税貯蓄組合連合会迫支部総会 年の功績に感謝をこめて

市納税貯蓄組合連合会迫支部総会が6月19日、迫公民館軽運動場で開催されました。開会にあたり富士原支部長は「納税貯蓄組合による納税の推進については、市の発展の一端を担っていると認識している。今後においても積極的な取り組みを継続していきたい」とあいさつし、永年納税活動への功績のあった組合長などに対し、感謝状と表彰状の贈呈が行われました。総会に引き続き行われた税制改正についての研修会では、参加した単位組合長から活発な質問が出るなど、非常に有意義な研修会となりました。



▲長年納税率の向上に尽力された皆さんに感謝状が贈られました

## 津山で登米市民会議津山支部市民集会 家族で守る伝統行事

青少年の健全育成を目的に、青少年のための登米市民会議津山支部市民集会が7月4日、津山公民館で開催されました。集会では、「明るい家庭づくり作文コンクール」で最優秀賞を受賞した佐々木拓人<sup>たくと</sup>君(横山小3年)が「お正月様をむかえる日」と題した作文を発表。大晦日に行う神棚の準備の様子や、伝統のお正月料理など、昔から伝わる風習や、それを守る家族の姿を紹介しました。自分も家族と一緒に伝統行事を守っていききたいという思いの発表に、参加者はうなずきながら聞きっていました。



▲観客の前で地域の伝統行事や家族に対する思いを発表する佐々木くん



▲地区ごとに分かれボール運びや輪投げなどの軽スポーツを楽しみました

## 東和で老人連合会レクリエーション大会 楽しみながら仲間づくり

レクリエーションを通じて健康保持と会員相互の親睦を図ることを目的に第5回東老連レクリエーション大会(東和町老人クラブ連合会主催)が7月10日、東和勤労青少年ホームで会員337人が参加し開催されました。競技はどれも気軽に参加できるよう工夫が凝らされたものばかりで、参加者は楽しみながらも一つ一つの競技に一生懸命に取り組んでいました。また、当日は80歳以上の人が86人も参加し、会場からは大きな声援と温かい拍手が送られ、終始和やかな雰囲気に包まれていました。

## 石越で交通安全推進大会 次なる記録の更新を目指して!

石越地区で6月26日に交通死亡事故ゼロ1000日を達成したことを記念して7月18日、石越総合体育館を会場に交通安全推進大会が開催されました。当日は雨が降るあいにくの天気でしたが約280人が参加。大会では、宮城県警察本部交通部長から1000日達成の感謝状が伝達されました。また、アトラクションでは、石越小学校のブラスバンドと石越中学校の吹奏楽部が合同演奏を披露しました。石越地区では今後、交通死亡事故ゼロ「2000日」達成を目標に、多くの交通安全活動を実施することにしています。



▲死亡事故ゼロ1000日を記念し、佐々木支所長へ感謝状が贈られました

## 南方花菖蒲の郷でモデル撮影会 満開の花菖蒲とモデルの共演

市みなみかた花菖蒲の郷公園の風景や花、まつり、野外彫刻などを題材とした「写真コンクール」に先立ち6月28日、花菖蒲に似合う浴衣姿のモデル撮影会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、県内はもとより、東北各県や遠くは関東地方から総勢155人の愛好家が参加して行われました。撮影会は3人のモデルごと3グループに分かれ、午前は浴衣の部、午後は私服の部で撮影を行いました。参加者は、満開に咲いた花菖蒲と、モデルの一瞬の表情を狙ってそれぞれシャッターを押していました。



▲美しい表情を撮ろうと県内外から大勢の愛好家が参加しました